

9 (月)	あたらかぞくうんめいさゆう 新しい家族の24 - 運命左右
	使2章9~11節 ユダヤ人もいれば改宗者もいる。またクレタ人とアラビア人もいる。それなのに、あの人たちが、私たちのことばで神の大きなみわざを語るのを聞くとは。(11)
	人々は、みんな24時の中にいます。24の中心が何なのかによって、人々の運命が左右されます。Remnantは、神様が24祝福しておられるので、その祝福によって24しましょう。
	1つ目、神様は助け主聖霊を私たちに約束してくださいました。助け主聖霊が私たちと永遠にともにおられ導かれ、これから起こることも伝えてくださると言われました。それゆえ、聖霊を受けなさいと言われたのです。聖霊で満たされれば力を受けます。私たちが、ほかの人々と違うことは、聖霊が私たちに働かれることです。2つ目、黙想時間を持ちましょう。朝にはすべてを回復する黙想時間を持ってください。昼には生活のすべてのことを神様にお話しする対話祈りをしましょう。夜には答えを受ける黙想をします。すると運命が変わります。これが24です。3つ目、新しい始まりをしましょう。マルコの屋上の部屋に聖霊が臨んだその日、その現場にプリスカ夫婦がいました。この夫婦は、その後、伝道するパウロに会いました。アポロのような重要な人材にマルコの屋上の部屋の働きを説明しました。彼らの家は地教会の答えを受け、彼らはローマ福音化に用いられました。
	私の身分を確認して、その祝福を24味わえるように祈りましょう。
	神様、助け主聖霊を24味わって新しい始まりをするRemnantになりますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

10 (火)	あたらかぞく 新しい家族の25
	マタ6章10、33節 御国が来ますように。みこころが天で行われるように、地でも行われますように。(10)まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。(33)
	25は未来を左右する霊的世界を意味します。未来の癒やしは私たちの力では不可能です。それゆえ、イエス様は神の国が臨むように祈りなさいと言われました。Remnantは権威を確認して、見張り人として立ちましょう。
	1つ目、見張り人にはやぐらが必要です。おもに朝に御座のやぐらについて祈りましょう。この祝福を味わう祈りを続ければ、時空を超越するようになります。すると、私にだけくださる空前絶後の答えが与えられます。2つ目、暗闇に光を照らす見張り人です。御座の旅程を味わって祈りましょう。巡礼者なので、すべてを受け入れて超越するのです。がまんしなさいということではなく、祈ってみことばで確実な答えを見つけるのです。そのときから働きが起こります。これが私たちに与えられた権威です。3つ目、いのちが救われるのを見る見張り人です。見張り人は船が水に沈んで行くな、はやく連絡して救助しなければなりません。見張り人として祈っていると、行く所ごとに復興の道しるべと伝道・宣教の道しるべが出てきます。Remnantが行く所に、この道しるべが出てきて伝道・宣教できる成功の道しるべも出て来ます。
	神様がRemnantに与えられた権威を確認して、見張り人の答えを受けるように祈りましょう。
	神様、神の国の25の奥義を持って、見張り人として現場に立ちますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

ロマ 16 章 25～27 節 私 の福音、すなわち、イエス・キリストを伝える宣教によって、また、世々にわたって隠されていた奥義の啓示によって——永遠の神の命令にしたがい、預言者たちの書を通して今や明らかにされ、すべての異邦人に信仰の従順をもたすために知らされた奥義の啓示によって、あなたがたを強くすることができる方、知恵に富む唯一の神に、イエス・キリストによって、栄光がとこしえまでありますように。アーメン

永遠ということばの反対語は臨時です。伝道はなぜ祝福なのでしょう。永遠のいのちが与えられるのを見るからです。私たちは永遠のことためにいのちをかけます。それゆえ、永遠の福音を伝える伝道は Remnant の使命です。パウロチームがこの答えを受けました。

1 つ目、第 1 段階は始まりです。完ぺきに聖霊の導きを受けてください。パウロチームは、はじめての宣教地に行くとき、聖霊の導きを受けるために断食をして祈りました。また、伝道の門がふさがったときは、マケドニアに行くターニングポイントを迎えました。そして、一度も行ったことがないティラノとローマに行きました。2 つ目、第 2 段階は現場です。暗闇文化を癒やす聖霊の働きが起きました。魔術師、悪霊につかれた者が癒やされただけでなく、その町全体が福音の力でひっくり返ってしまったのです。その町に伝道運動、弟子、宣教運動が起こり始めました。3 つ目、第 3 段階は未来です。神様は未来をあらかじめ準備されています。これを聖霊の実と言います。これを見るために、パウロは会堂と重要なところローマに行ったのです。そのとき、サタンが足で踏み碎かれて、世々にわたって隠されていたことを神様がくださいます。

Remnant は永遠のことを祈り、私の使命を確認しましょう。

神様、永遠のことを祈る Remnant になりますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

使 1 章 8 節 しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。(8)

Remnant は 24 時、25 時、永遠の祈りを理解した弟子になりましょう。この弟子は絶対に揺れません。この弟子を通して、神様が 237-5 千種族を生かされます。24 時、25 時、永遠の祈りを理解するために、実践することがあります。

1 つ目、40 日を実践しましょう。イエス様が 40 日間語られたことを刻印させるのです。これを 24 時と言います。神様は天と地のすべての権威を持って、私といつもともにいると約束してくださいました。悪霊を追い出す権威も与えてくださり、力が臨むと言われました。地の果てまで証人になると約束してくださいました。これを私に刻印させましょう。2 つ目、刻印されたみことばが根をおろし始めることが 25 時の始まりです。3 つ目、根をおろしたみことばは必ず成就します。毎日、家と宮でみことばを分かち合って黙想することが体質になります。すると、金土日時代と異邦人と子どもたち、病んでいる者を生かすようになります。自然に世界を生かす証人になるのです。

24 時祈りは、一挙にできることはありません。朝に起きて、みことばによって安らかに祈ることが 24 時祈りの始まりです。短く 5 分だけでもみことばを黙想する時間を持ちましょう！

神様、24 時祈りを理解する Remnant になりますように。そして、237-5000 種族を生かす弟子になりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

## ヨルダンを渡らなければならない理由

ヨシ3章1～13節 民に命じた。「あなたがたの神、主の契約の箱を見、さらにレビ人の祭司たちがそれを担っているのを見たら、自分のいる場所を出発して、その後を進みなさい。(3)

イスラエルの民が\*ヨルダンを渡るのは不可能に見えました。そのとき、みことばが入った\*契約の箱の後を進んで渡りなさいと言われました。ヨルダンを渡らなければならない絶対理由三つは何でしょうか。

1つ目、神様の力を体験するためです。契約の箱の後を進んで行きなさいということ、出エジプトした後、荒野で飢え死にしようになったとき、神様がマナとウズラを与えてくださった力を体験するのと同じです。御座の背景と神様の力である三つの祭りを体験しなさいということです。2つ目、契約を確認するためです。今の世代は、以前に神様が行われた働きを見ることができませんでした。そのために、神様はヨルダンの奇跡によって、モーセとともにおられたのと同じことを分かせようとしたのです。3つ目、確実な証拠を握るためです。ヨルダンの奇跡で神様が与えられるみことばの証拠と\*成就を握りましょう。そのようにして握ったみことばの証拠と\*成就是、ほかの人に伝えられて、暗闇の勢力を打ち破るようになります。

Remnantは困難、不可能、問題、葛藤、危機が来たら逃げるのではなく、300%の契約を握って祈りましょう。神様が私とともにおられるという約束100%、すべてを解決されたという約束100%、世界福音化される約束100%を持って祈れば良いのです。

\*ヨルダン：ヘルモン山に源がありガリラヤ湖を経て死海まで流れる川です。

\*契約の箱：神様の契約を象徴する箱です。

\*成就：みことばで預言されたことが成し遂げられたという意味です。

神様、神様の契約を握って不可能なときも祈るRemnantになりますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

2025.05.04.1部

## 記念碑を建てなさい

ヨシ4章1～14節 あなたがたは彼らにこう言いなさい。『ヨルダン川の水が主の契約の箱の前でせき止められたのだ。箱がヨルダン川を渡るとき、ヨルダン川の水はせき止められた。この石はイスラエルの子らにとって永久に記念となるのだ。』(7)

Remnantは勉強をしても、伝道をしても\*記念碑が建てられるのを見ましょう。そのために、上から神様が与えられる力を得れば良いのです。その力によって何の記念碑が建つのかを見るのでしょうか。

1つ目、荒野40年間にあったことが記念碑として建ちます。血のいけにえによってエジプトから解放されたことと、10の奇跡で暗闇の文化を打ち破ったことを記念して刻印させるのです。紅海で神様がなされた働きを見ることができなかった次世代に、ヨルダンを通して神様がともにおられる確実な信仰を植えてくださいました。これを御座の祝福と言います。2つ目、次世代が見るように記念碑を建てるようになります。次世代が起きて、この記念碑について尋ねたら、神様がヨルダンを分けられてその中から拾ってきた石で建てたと言いなさいと言われました。Remnantは三位一体の神様のみことば、祈り、伝道、現場、国の流れの中にいれば良いのです。これを指して神の国が臨んだと言います。3つ目、永遠に記念になるように記念碑を建てるのです。次世代だけでなく、全世界237か国と5千種族に伝えられるようになります。これを指して神の国のことと言います。

Remnantは神様が今日、私の現場で成就されるみことば、祈り、伝道の働きを記録として残しましょう。

\*記念碑：良いことやある人物の業績を長い間記念するために作った碑のことです。

神様、神様の契約と神様がなされたことを毎日確認して、記念しますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

2025.05.04.2部